

## 第7期

# 運用報告書(全体版)

## 中国人民元ソブリンオープン (愛称 むげん 夢元)

【2022年2月10日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「中国人民元ソブリンオープン（愛称 むげん 夢元）」は、2022年2月10日に第7期決算を迎えたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2018年10月12日から原則として無期限です。	
運用方針	中国人民元ソブリンマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、中国本土に流通する中国人民元建ての中国のソブリン債に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産（人民元建て資産）については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	中国人民元ソブリンマザーファンド	中国人民元建ての中国のソブリン債を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	中国人民元ソブリンマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月10日および8月10日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPY		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
3期(2020年2月10日)	9,928	90	7.3	224.531	8.7	95.3	—	43,088
4期(2020年8月11日)	9,445	90	△4.0	217.191	△3.3	93.6	—	22,604
5期(2021年2月10日)	10,015	100	7.1	234.004	7.7	95.9	—	21,569
6期(2021年8月10日)	10,720	100	8.0	254.105	8.6	94.2	—	17,349
7期(2022年2月10日)	11,527	110	8.6	277.423	9.2	94.7	—	14,261

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYは、当該日前営業日の現地終値を記載しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

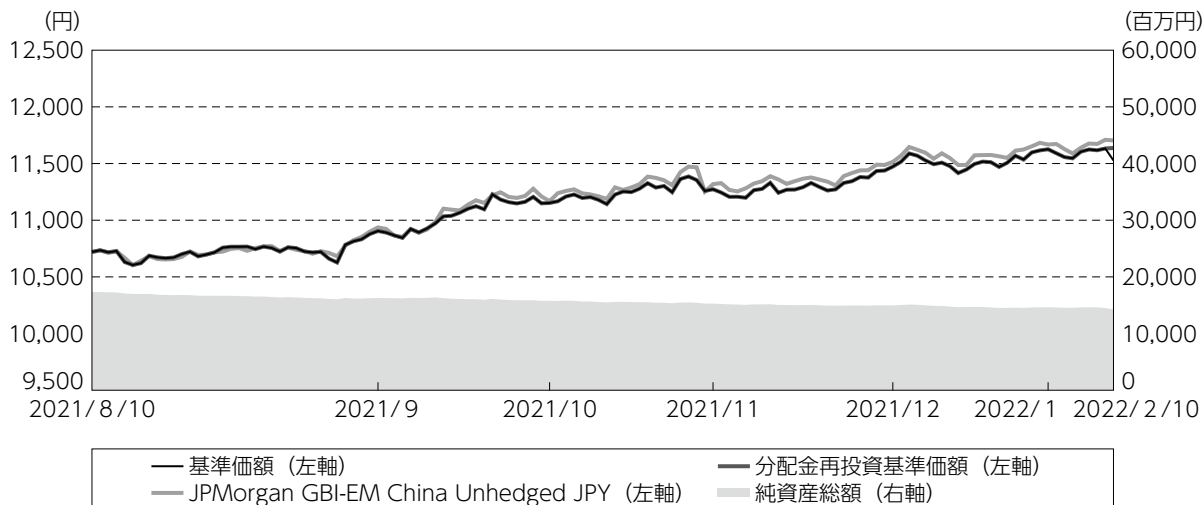
年 月 日	基準価額		JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPY		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2021年8月10日	円	%	ポイント	%	%	%
	10,720	—	254.105	—	94.2	—
8月末	10,716	△0.0	254.026	△0.0	92.8	—
9月末	10,905	1.7	259.240	2.0	93.8	—
10月末	11,152	4.0	264.734	4.2	94.9	—
11月末	11,273	5.2	268.289	5.6	93.6	—
12月末	11,473	7.0	272.951	7.4	95.2	—
2022年1月末	11,626	8.5	276.577	8.8	92.2	—
(期末) 2022年2月10日	11,637	8.6	277.423	9.2	94.7	—

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2021年8月11日～2022年2月10日）



期首：10,720円

期末：11,527円（既払分配金（税引前）：110円）

騰落率：8.6%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYです。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2021年8月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「中国人民元ソブリンマザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。
- ・保有債券からの利息収入の獲得がプラスとなりました。
- ・人民元が対円で上昇したことがプラスとなりました。

#### (主なマイナス要因)

- ・特にありません。

## 投資環境

（2021年8月11日～2022年2月10日）

中国の債券市場では、中国当局による規制強化の動きを受けた投資家のリスク回避姿勢が利回り低下要因となる一方で、景気刺激策を見込んだ株高などは利回り上昇要因となり一進一退でのスタートとなりました。米中首脳会談の実施に向けた期待や、預金準備率の引き下げ期待が剥落したことなどを受け、2021年10月中旬にかけて債券利回りは上昇する局面も見られました。しかし、その後は、新型コロナウイルスの新たな変異株であるオミクロン株への懸念や、中国人民銀行が預金準備率を引き下げたことに加え、貸出金利の指標となるローンプライムレート（1年、5年）等の主要金利も軒並み引き下げ、金融緩和姿勢を鮮明にしたことなどを受けて、債券利回りは低下基調が継続する展開となりました。

為替市場では、中国当局による規制強化の動きを受けた景況感の悪化と、景気刺激策への期待から一進一退でのスタートとなりました。2021年11月下旬にかけては、資源高に伴う日本の貿易収支の悪化懸念や、各国中銀と日銀との金融政策差異などを背景とした円安が進行したことから、人民元は対円で上昇する展開となりました。その後は、オミクロン株への懸念から上昇幅が縮小する局面も見られましたが、中国の堅調な貿易収支や中国債券市場に海外資金の流入が続いたことなどを受けて、人民元は対円で堅調に推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2021年8月11日～2022年2月10日）

### <中国人民元ソブリンオープン（愛称 <sup>むげん</sup> 夢元）>

「中国人民元ソブリンマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。

#### ○中国人民元ソブリンマザーファンド

##### （債券組入比率）

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

##### （債券別投資比率）

債券通（ボンドコネクト）を通じて、人民元建ての国債、国家開発銀行債に投資しました。当期間は国債の比率を6～7割程度、国家開発銀行債の比率を2～3割程度としました。ポートフォリオ内では、長期債の比率を高位で維持しました。

#### 債券通（ボンドコネクト）とは…

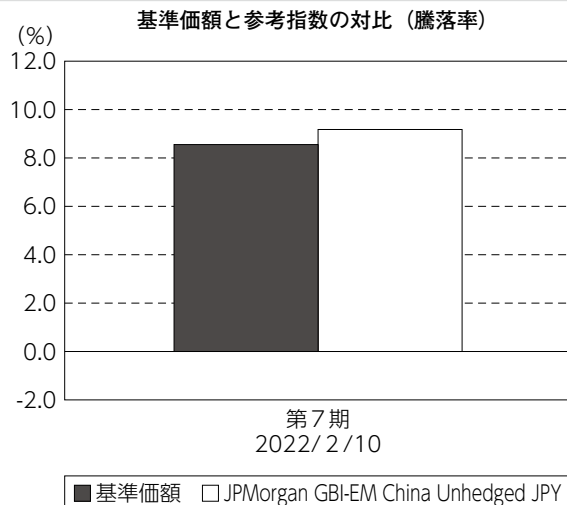
中国本土と香港間の債券相互取引制度で2017年7月にスタートしました。

海外機関投資家は、香港経由で、中国本土の銀行間債券市場での債券投資が可能となりました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年8月11日～2022年2月10日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYの騰落率を0.6%下回りました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYです。

## 分配金

（2021年8月11日～2022年2月10日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、ファンドの収益力、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり110円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第7期
	2021年8月11日～ 2022年2月10日
当期分配金	110
(対基準価額比率)	0.945%
当期の収益	110
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,527

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境）

中国の債券市場については、秋に5年に1度の共産党大会を控え、当局は「成長の安定」を2022年の最重要課題としており、景気刺激策への期待は、利回り上昇要因として懸念されます。一方で、中国人民銀行が緩和的な金融政策スタンスで経済を下支えする姿勢を鮮明にしていることに加え、厳格な感染対策の継続、一部の不動産開発業者の資金繰り懸念などを背景とした不動産セクターへの投資抑制は、経済の下押し要因となり金利低下圧力として想定されます。このため、債券利回りは現状水準を中心とした一進一退の展開を予想します。

為替市場については、当局からの急速な元高を牽制する発言が散見されていることもあり、これまでの元高を修正する展開には留意を要します。ただし、堅調な貿易収支やF T S E世界国債インデックスへの段階的な組み入れによる海外からの資金流入などを背景に、人民元は対円で今しばらく底堅い推移を予想します。

### （運用方針）

#### <中国人民元ソブリンオープン（愛称 <sup>むげん</sup> 夢元）>

主要な投資対象である「中国人民元ソブリンマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持して運用する方針です。

#### ○中国人民元ソブリンマザーファンド

運用につきましては、債券利回りが一進一退となる展開を見込み、相対的に利回りの高い長期債の比率を高め維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2021年 8 月11日～2022年 2 月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	71 (34) (34) ( 2)	0.632 (0.305) (0.305) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他 1) (そ の 他 2)	2 ( 1) ( 1) ( 0) ( 0)	0.022 (0.013) (0.007) (0.002) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他 1 は、中国の債券取引に係る費用 その他 2 は、金銭信託支払手数料
合 計	73	0.654	
期中の平均基準価額は、11,190円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

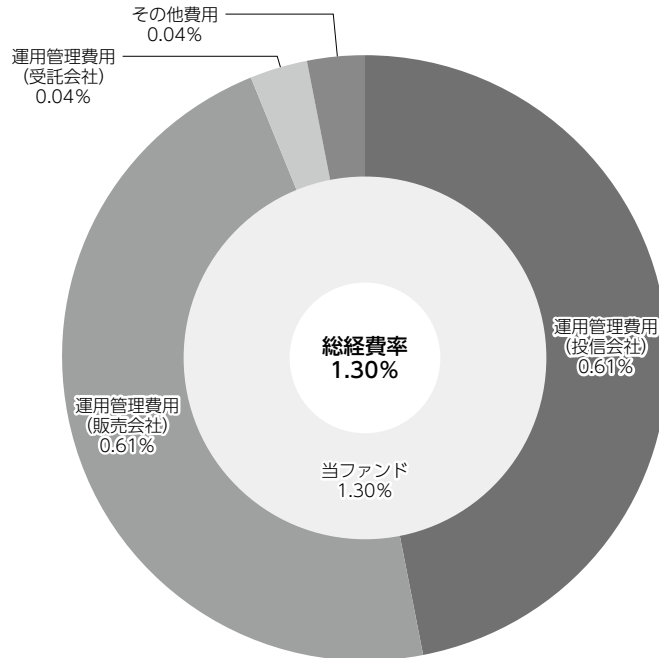
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.30%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

（2021年8月11日～2022年2月10日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
中国人民元ソブリンマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 3,600,933	千円 4,479,237

（注）単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2021年8月11日～2022年2月10日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2022年2月10日現在）

### 親投資信託残高

銘 柄	期 首(前期末)	当 期		末
	口 数	口 数	評 価	額
中国人民元ソブリンマザーファンド	千口 14,450,922	千口 10,849,988		千円 14,191,784

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2022年2月10日現在）

項 目	当 期		末
	評 価	額	比 率
中国 人 民 元 ソ ブ リ ン マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 14,191,784		% 95.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他		602,966	4.1
投 資 信 託 財 産 総 額		14,794,750	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）中国人民元ソブリンマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（13,772,565千円）の投資信託財産総額（14,339,065千円）に対する比率は96.0%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1オフショア元=18.1656円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年2月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,794,750,188
コール・ローン等	502,249,561
中国人民元ソブリンマザーファンド(評価額)	14,191,784,863
未収入金	100,715,764
(B) 負債	532,765,844
未払収益分配金	136,094,048
未払解約金	296,591,897
未払信託報酬	99,035,292
未払利息	327
その他未払費用	1,044,280
(C) 純資産総額(A - B)	14,261,984,344
元本	12,372,186,252
次期繰越損益金	1,889,798,092
(D) 受益権総口数	12,372,186,252口
1万口当たり基準価額(C / D)	11,527円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.1527円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は16,185,140,611円、期中追加設定元本額は140,829,396円、期中一部解約元本額は3,953,783,755円です。

○損益の状況（2021年8月11日～2022年2月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 24,117
受取利息	744
支払利息	△ 24,861
(B) 有価証券売買損益	1,226,997,339
売買益	1,377,818,073
売買損	△ 150,820,734
(C) 信託報酬等	△ 100,085,260
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,126,887,962
(E) 前期繰越損益金	549,822,045
(F) 追加信託差損益金	349,182,133
(配当等相当額)	( 164,278,300)
(売買損益相当額)	( 184,903,833)
(G) 計(D + E + F)	2,025,892,140
(H) 収益分配金	△ 136,094,048
次期繰越損益金(G + H)	1,889,798,092
追加信託差損益金	349,182,133
(配当等相当額)	( 164,610,042)
(売買損益相当額)	( 184,572,091)
分配準備積立金	1,540,615,959

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第7期
(a) 配当等収益(費用控除後)	208,171,494円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	918,716,468円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	349,182,133円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	549,822,045円
分配対象収益(a + b + c + d)	2,025,892,140円
分配対象収益(1万口当たり)	1,637円
分配金額	136,094,048円
分配金額(1万口当たり)	110円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	110円
支払開始日	2022年2月17日(木)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

### 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
<b>1(万)口当たり基準価額</b>	1(万)口当たりのファンドの時価です。

### 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2022年2月10日現在）

<中国人民元ソブリンマザーファンド>

下記は、中国人民元ソブリンマザーファンド全体（10,885,930千口）の内容です。

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
中国 オフ ショ ア	千 オフ ショ ア 元 715,500	千 オフ ショ ア 元 746,162	千 円 13,554,488	% 95.2	% —	% 59.0	% 29.7	% 6.5
合 計	715,500	746,162	13,554,488	95.2	—	59.0	29.7	6.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) ボンドコネクトを通じた中国人民元建てソブリン債への投資に際し、取引通貨はオフショア元の為替レートが適用されます。（以下同じ。）

(B) 外国（外貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期			末		償 還 年 月 日
		利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
中国 オフ ショ ア		%	千 オフ ショ ア 元	千 オフ ショ ア 元	千 円		
国債証券	CHINA GOVT BOND 2.84	2.84	15,000	15,201	276,143	2024/4/8	
	CHINA GOVT BOND 2.89	2.89	15,500	15,710	285,398	2031/11/18	
	CHINA GOVT BOND 3.12	3.12	30,000	30,871	560,793	2026/12/5	
	CHINA GOVT BOND 3.19	3.19	70,000	71,446	1,297,875	2024/4/11	
	CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	45,000	46,521	845,090	2026/6/6	
	CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	40,000	41,511	754,075	2028/11/22	
	CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	50,000	50,963	925,782	2023/10/18	
	CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	20,000	20,798	377,819	2029/5/23	
	CHINA GOVT BOND 3.54	3.54	40,000	42,319	768,760	2028/8/16	
	CHINA GOVT BOND 3.6	3.6	66,000	69,057	1,254,476	2025/9/6	
	CHINA GOVT BOND 3.72	3.72	80,000	85,570	1,554,437	2051/4/12	
	特殊債券 (除く金融債)	CHINA DEV BANK 3.48	3.48	60,000	62,008	1,126,416	2029/1/8
CHINA DEV BANK 3.65		3.65	94,000	98,154	1,783,040	2029/5/21	
CHINA DEV BANK 4.04		4.04	90,000	96,026	1,744,377	2028/7/6	
合 計					13,554,488		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 中国人民币ソブリンマザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ペビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

### 中国人民币ソブリンマザーファンド

#### 第3期 運用状況のご報告

決算日：2021年8月10日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	主として中国本土に流通する中国人民币建ての中国のソブリン債に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	中国人民币建ての中国のソブリン債を主要投資対象とします。
投 資 制 限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPY		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額 総
	期 騰 落	中 率	(参考指数)	期 騰 落			
(設定日) 2018年8月23日	円 10,000	% —	ポイント 211.211	% —	% —	% —	百万円 19
1期 (2019年8月13日)	9,795	△ 2.1	206.634	△ 2.2	96.0	—	59,633
2期 (2020年8月11日)	10,213	4.3	217.191	5.1	94.0	—	22,567
3期 (2021年8月10日)	11,969	17.2	254.105	17.0	94.4	—	17,344

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYは、当該日前営業日の現地終値を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

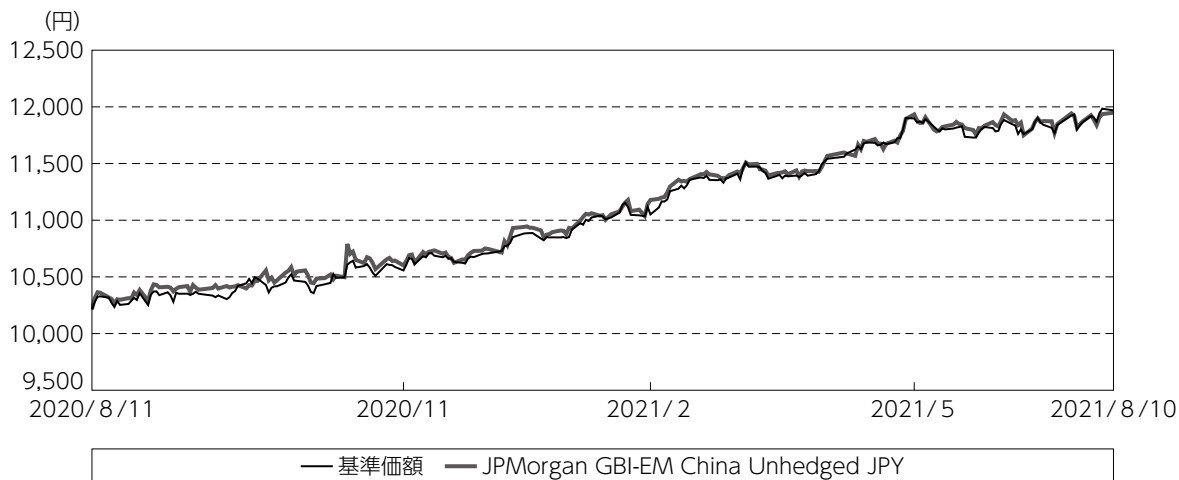
年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPY		債券組入率 比	債券先物率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2020年8月11日	円 10,213	% —	ポイント 217.191	% —	% 94.0	% —
8月末	10,251	0.4	218.833	0.8	94.9	—
9月末	10,358	1.4	221.440	2.0	95.3	—
10月末	10,419	2.0	222.968	2.7	95.6	—
11月末	10,557	3.4	225.443	3.8	95.9	—
12月末	10,707	4.8	228.558	5.2	96.1	—
2021年1月末	10,917	6.9	232.355	7.0	95.6	—
2月末	11,051	8.2	237.713	9.4	96.1	—
3月末	11,459	12.2	243.701	12.2	95.3	—
4月末	11,542	13.0	245.992	13.3	95.4	—
5月末	11,898	16.5	253.787	16.8	95.5	—
6月末	11,789	15.4	251.519	15.8	94.7	—
7月末	11,864	16.2	252.463	16.2	95.1	—
(期 末) 2021年8月10日	11,969	17.2	254.105	17.0	94.4	—

(注) 騰落率は期首比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2020年8月12日～2021年8月10日)



(注) 参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYです。

(注) 参考指数は、期首(2020年8月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。
- ・保有債券からの利息収入の獲得がプラスとなりました。
- ・人民元が対円で上昇したことがプラスとなりました。

#### (主なマイナス要因)

- ・特にありません。

## 投資環境

(2020年8月12日～2021年8月10日)

中国の債券市場では、新型コロナウイルスのワクチン接種への期待や景気回復の進展を受けて2020年11月にかけ債券利回りが上昇し、金融政策の引き締め観測が台頭した2021年2月には再度債券利回りに上昇圧力がかかる展開となりました。しかし、中国人民銀行（中央銀行）が現状の金融政策を当面維持する方針を示したことに加え、米金利の上昇が一服し、当局が商品市況の上昇を抑制する姿勢を鮮明にしたこと等を受け、債券利回りは低下に転じました。その後は、中国経済の回復ペースの鈍化懸念や、預金準備率の引下げ、各種規制強化による投資家のリスク回避姿勢、新型コロナウイルスの変異株（デルタ株）の感染者増加もあり、債券利回りは低下基調が継続しました。

為替市場では、中国の景気回復が先行したことに加え、世界的な低金利環境の中、相対的に高金利の中国債券市場に海外資金の流入が続いたことなどから、2021年5月末にかけて人民元は対円で堅調に推移しました。その後は高値圏での揉み合い商状となる中、7月の当局による各種規制強化を受け、人民元は対円でこれまでの上昇幅が縮小する展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2020年8月12日～2021年8月10日)

### (債券組入比率)

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

### (債券別投資比率)

債券通（ボンドコネクト）を通じて、人民元建ての国債、国家開発銀行債に投資しました。当期間は国債の比率を6割程度、国家開発銀行債の比率を3～4割程度としました。ポートフォリオ内では、長期債の比率を高位で維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年8月12日～2021年8月10日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としてJPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYの騰落率を0.2%上回りました。

## 今後の運用方針

### (投資環境)

中国の債券市場については、需給面において、地方政府債の発行が年間発行計画対比でこれまで抑制的となっており、年後半での発行増加懸念が残存することに加え、中国当局による更なる規制強化懸念が、債券市場のボラティリティ（価格変動性）上昇という形で波及する展開には留意を要します。ただし、中国人民銀行は下半期も十分な流動性を供給する姿勢を示しており、過度なボラティリティは抑制される公算です。このため、債券利回りは現状水準を中心とした推移を予想します。

為替市場については、中国共産党による各種規制強化が株式市場への警戒感を高めたことから資金流出懸念が残存しています。一方で、先進国対比での金利妙味の高さや10月からのF T S E世界国債インデックスへの段階的な組み入れを控え海外からの資金流入が見込まれるため、人民元は対円で一進一退となる展開を予想します。

### (運用方針)

運用につきましては、債券利回りが一進一退となる展開を見込み、相対的に利回りの高い長期債の比率を高め維持する方針です。



○1万口当たりの費用明細

(2020年8月12日～2021年8月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	3 (3)	0.027 (0.024)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他 1)	(0)	(0.002)	その他1は、中国の債券取引に係る費用
(そ の 他 2)	(0)	(0.000)	その他2は、金銭信託支払手数料等
合 計	3	0.027	
期中の平均基準価額は、11,067円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年8月12日～2021年8月10日)

公社債

		買 付 額	売 付 額	
外 国	中国オフショア	千オフショア元	千オフショア元	
		国債証券	162,533	451,874
		特殊債券	—	160,087

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ボンドコネクトを通じた中国人民币建てソブリン債への投資に際し、取引通貨はオフショア元の為替レートが適用されます。（以下同じ。）

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月12日～2021年8月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年8月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
中国 オフ ショア	千オフショア元 931,000	千オフショア元 962,192	千円 16,380,937	% 94.4	% —	% 58.4	% 23.3	% 12.8
合 計	931,000	962,192	16,380,937	94.4	—	58.4	23.3	12.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
中国 オフ ショア		%	千オフショア元	千オフショア元	千円	
国債証券	CHINA GOVT BOND 3.12	3.12	30,000	30,655	521,897	2026/12/5
	CHINA GOVT BOND 3.19	3.19	70,000	71,231	1,212,684	2024/4/11
	CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	45,000	46,081	784,524	2026/6/6
	CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	40,000	41,096	699,656	2028/11/22
	CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	50,000	50,889	866,373	2023/10/18
	CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	20,000	20,581	350,390	2029/5/23
	CHINA GOVT BOND 3.54	3.54	40,000	41,869	712,813	2028/8/16
	CHINA GOVT BOND 3.6	3.6	66,000	68,684	1,169,321	2025/9/6
	CHINA GOVT BOND 3.72	3.72	160,000	169,014	2,877,402	2051/4/12
	CHINA GOVT BOND 3.86	3.86	70,000	74,905	1,275,237	2049/7/22
特殊債券 (除く金融債)	CHINA DEV BANK 2.85	2.85	50,000	50,007	851,357	2021/8/13
	CHINA DEV BANK 3.48	3.48	60,000	60,822	1,035,470	2029/1/8
	CHINA DEV BANK 3.65	3.65	50,000	51,230	872,170	2029/5/21
	CHINA DEV BANK 3.68	3.68	80,000	80,117	1,363,970	2021/9/7
	CHINA DEV BANK 4.04	4.04	100,000	105,005	1,787,668	2028/7/6
合 計					16,380,937	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年8月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 16,380,937	% 94.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	963,606	5.6
投 資 信 託 財 産 総 額	17,344,543	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (16,628,154千円) の投資信託財産総額 (17,344,543千円) に対する比率は95.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1オフショア元=17.0246円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 17,344,543,677
コール・ローン等	716,389,644
公社債(評価額)	16,380,937,667
未収利息	237,526,299
前払費用	9,690,067
(B) 負債	6,467
未払利息	714
その他未払費用	5,753
(C) 純資産総額(A-B)	17,344,537,210
元本	14,490,735,076
次期繰越損益金	2,853,802,134
(D) 受益権総口数	14,490,735,076口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,969円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.1969円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は22,096,566,055円、期中追加設定元本額は8,526,160円、期中一部解約元本額は7,614,357,139円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

中国人民元ソブリンオープン	14,450,922,308円
中国人民元ソブリンオープン (元高米ドル安戦略)	39,812,768円

## ○損益の状況 (2020年8月12日~2021年8月10日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 731,206,342
受取利息	731,374,741
支払利息	△ 168,399
(B) 有価証券売買損益	2,645,388,534
売買益	2,690,053,934
売買損	△ 44,665,400
(C) その他費用等	△ 5,666,815
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,370,928,061
(E) 前期繰越損益金	470,982,271
(F) 追加信託差損益金	902,084
(G) 解約差損益金	△ 989,010,282
(H) 計(D+E+F+G)	2,853,802,134
次期繰越損益金(H)	2,853,802,134

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <お知らせ>

該当事項はございません。